

(別表3)

卒業認定基準

第一部 高度工学教育課程

区 分		条 件	単 位 数
共通科目	人間社会	必修1単位及び複数区分から8単位	左記条件を満たし、50単位以上
	自然科学基礎	必修全科目を含めて22単位	
	産業・経営リテラシー	必修1単位及び経営リテラシー区分から4単位	
	グローバルコミュニケーション	必修8単位	
	健康運動科学	必修2単位	
専門教育科目		必修全科目を含めて	74単位以上
合 計			124単位以上

第一部 創造工学教育課程

区 分		条 件	単 位 数	
共通科目	人間社会	必修1単位及び複数区分から8単位	左記条件を満たし、50単位以上	
	自然科学基礎	必修全科目を含めて22単位		
	産業・経営リテラシー	必修1単位及び経営リテラシー区分から4単位		
	グローバルコミュニケーション	必修8単位		
	健康運動科学	必修2単位		
専門教育科目	工学デザイン科目	必修全科目を含めて	22単位以上	左記条件を満たし、80単位以上
	主軸専門科目	必修全科目を含めて	34単位以上	
	創造工学設計科目		22単位以上	
合 計			130単位以上	

第二部

区 分		条 件	単 位 数		
共通科目	理系基礎科目	必修全科目を含めて	22単位以上	左記条件を満たし、54単位以上	
	ものづくり・経営基礎科目	選択必修6単位			
	リベラルアーツ科目	科学技術英語	必修8単位		左記条件を満たし、28単位以上
		人間文化	選択必修8単位		
	健康運動科学	必修2単位			
専門教育科目		必修全科目を含めて	70単位以上		
合 計			124単位以上		

カリキュラムの区分について

第一部

区 分		考 え 方		
共通科目	人間社会	技術を考える上で、人間と社会を考えることは重要な要素であり、人間に関連する諸科学と人間が形作る社会に関連する諸科学について、考え方、アプローチの仕方などについて学ぶ能力を涵養する。 また、学習態度や社会との関係、学習方法など、工学の学習を進める上必要な能力を涵養する。		
	自然科学基礎	工学の基礎としての自然科学を中心に教育するカテゴリであり、各学科・課程で必要とする授業科目を履修するものとする。		
	産業・経営リテラシー	専門知識を社会に活用するための能力を涵養するカテゴリであり、技術者としての社会的責任、経営感覚、産業と技術の関わりを学習する。		
		経営リテラシー	技術者として不可欠な倫理観、経営感覚を涵養する。	
		産業社会	技術と産業社会との関係を理解するための能力を涵養する。	
	グローバルコミュニケーション	国際社会で技術者・工学者として活躍するためのコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を涵養する。		
	健康運動科学	心身両面での社会への適応能力を涵養する。		
専門教育科目	高度工学教育課程	学科共通科目	初学者が各専門分野へ導入され、その概要を理解できるよう専門の基礎として開講する専門科目。	
		基盤科目	自己設計	融合的な領域を自律的に組み立てて学ぶ専門科目。
		展開科目		
	実験・演習科目	専門科目の理論や知識を裏付け理解するための具体的な体験や実験・演習を通じて理解する科目。		
	実践研究セミナー	専門知識を活用し、専門領域で調査、分析、設計等を行なうための方法論を修得し、これらの結果についてのプレゼンテーション、意見交換等によって工学の研究を行う方法を学ぶ。		
	卒業研究	学部教育の集大成とし、自ら課題を設定して、データや情報を得て分析あるいは設計し、考察してまとめ上げる科目。専門領域に関して、何らかのクリエイティブな成果を出すか、あるいは問題点を指摘することが目標である。また、「基礎的な知識力」「論理的思考力」「問題解決力」「自己管理能力」「コミュニケーション力」「総合的な表現力」等の評価軸により、卒業研究プロセスの達成度を評価する。		
	創造工学教育課程	工学デザイン科目	工学の知識を要素として社会に活用できる技術や新たな価値を作り出すため、その方法の学習あるいは実践を体得する専門科目。	
主軸専門科目		13の分野の1つを主軸専門分野とし、その分野で骨格となる知識を体系的に学ぶ専門科目。		
創造工学設計科目		自ら定めた学習目標を実現するために主軸専門科目に加えて学ぶべき知識を選択して学ぶ専門科目。		